

研究実施のお知らせ

山梨大学医学部では、下記課題名の研究を行います。「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和3年6月30日施行）に基づき、匿名化された既存試料・情報（診療録等）の研究利用について、以下に公開いたします。

研究の題名：ヒト消化管がん組織検体資源の構築とがんの生物学的特性の解明

研究期間：医学域長の許可日～2026年12月31日

研究責任者：山梨大学 解剖学講座細胞生物学教室 学部内准教授 吉村健太郎

【研究の目的と意義について】

大腸がんはがんによる死亡数のうち原因の上位を占めます。また、大腸がんは医療開発の規範となる疾患であるため、その病態を明らかにすることは大腸がん以外のがん種においての診断法や治療法開発の基盤として有用です。

この研究では、大腸がんの組織を質量分析という方法で成分を調べ、非がん、がんの診断や大腸がんの病態を理解することを目的とします。

【研究の方法について】

金沢大学の組織バンクに保存されている、大腸がんの患者さん由来のがん部および非がん部組織の一部を山梨大学に移送し、そこで生体成分を抽出します。抽出された検体は質量分析装置により成分分析され、得られたデータをデータベースに蓄積します。このデータを人工知能で学習し、非がん、がんの判別を行うためのアルゴリズムを構築します。また、得られたデータを統計解析して、新規腫瘍マーカーの発見を目指します。

【利用する情報について】

〈対象となる患者さん〉

金沢大学がん進展制御研究所ヒト消化管がん組織バンクに参加登録している大腸がん患者さんで2009年9月から2018年3月までに大腸がんの手術を金沢大学附属病院と石川県立中央病院で受けた方。

〈利用する情報・項目〉

試料：大腸およびがん組織（同じ患者さんのがん組織とその周囲の非がん部粘膜上皮）

情報：診療情報（名前などの個人情報含まない）

【試料・情報を利用する者の範囲について】

この研究は、多機関共同研究として、以下の共同研究機関で実施されます。

この研究で使用する試料・情報は、すべて各機関においてオプトアウト（通知又は公開と拒否する機会の提供）により入手し、匿名化されたデータです。

- 研究代表者

金沢大学がん進展制御研究所 腫瘍制御研究分野 教授 源 利成

- 共同研究機関および研究責任者

山梨大学 解剖学講座細胞生物学教室 学部内准教授 吉村健太郎

帝京大学大学院 公衆衛生学研究科 教授 松浦正明

株式会社島津製作所 基盤技術研究所 主幹研究員 梶原茂樹

石川県立中央病院 消化器外科 診療部長 ^{ばんどう}伴登宏行

【資料情報の管理】

山梨大学 解剖学講座細胞生物学教室 吉村健太郎

【利用に関する対応】

研究対象者の方は、本研究についての質問等を研究責任者にすることができます。ただし、匿名化されたデータとなっていますので、個別に利用の制限等を行うことは困難です。

【研究対象者もしくは代理人の方の問い合わせ方法】

本研究に関するお問い合わせは、メール又はファックス等の文書でお願いいたします。

〒409-3898 山梨県中央市下河東 1110

山梨大学大学医学部 解剖学講座細胞生物学教室

メール：kyoshimura@yamanashi.ac.jp（吉村健太郎）

ファックス：055-273-9473